

ふるさとの誇り

129



花曇り
hanagumori

桜が咲く頃、空が薄曇りである様子。

妙了寺



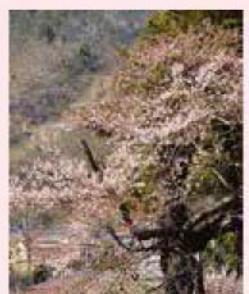
蘿見神社



特撰頭



市指定
能郷池のエドヒガン



市指定
曲輪田諏訪神社の
エドヒガン



桜雨
sakuraame

桜が咲く頃に降る雨

妙了寺



零れ桜
koborezakura

蘿見神社

咲き済ちてこぼれ落ちる桜の花。またはその様子。



花風
hanakaze

桜の花の盛りに吹く風。

写真文
文化財課



市指定
上市之瀬のイトザクラ

私たちの周りには桜にまつわる言葉もあふれています。例えば「サクナカ」など言葉は邊境の会話を知らせる雑誌として知られていますが、ついで大輪を咲かせる姿などぞろぞろめでたいことの象徴として使われてきました。

ほかにも「花曇り」や「花筏」という言葉もあります。

これらは移ろいゆく桜の姿やその風景の時間を感じ取った表現と言えます。青空に映える満開の桜だけでなく、曇り空や散つてもなお桜を愛する日本人の心がうがえます。

最後に市内各地の桜の写真とともにそのような言葉の一部を紹介します。普段はあまり使わないかもしれませんのが、どのような言葉を思い浮かべながら、移り行く桜の風景を楽しんでみるのも良いかもしれませんね。

新しい年度を迎える前に多くの桜の木があります。中でも市の天然記念物に指定されているものに「上市之瀬のイトザクラ」「曲輪田諏訪神社のエドヒガン」「能郷池のエドヒガン」があります。

南アルプス市内にも多くの桜の木があります。中でも市の天然記念物に指定されているものに「上市之瀬のイトザクラ」「曲輪田諏訪神社のエドヒガン」「能郷池のエドヒガン」があります。また、昔から美しい桜を感じてきました。

花筏

hanaikada

散った花びらが水面に浮かんで吹き寄せられていく様子。

写真文
文化財課